

令和6年度事業計画書

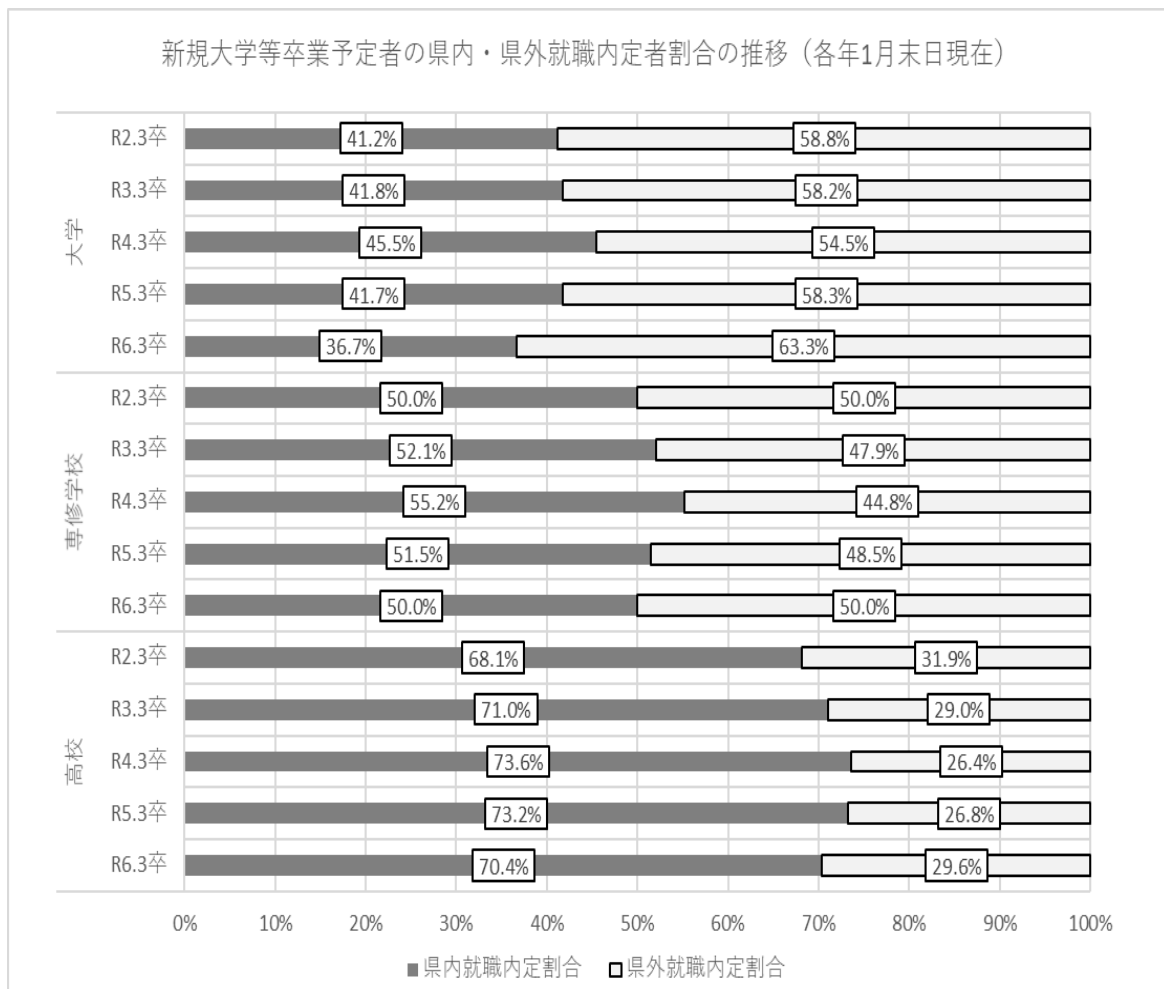
公益財団法人ふるさといわて定住財団

岩手労働局の直近の一般職業状況（令和6年1月分）によれば、「県内の雇用情勢は、減速傾向がみられる。引き続き物価上昇等の影響に注意する必要がある」とされる中で、有効求人倍率は1.18倍となり、令和5年2月から維持してきた1.2倍台を下回りました。一方で職業安定所別では、県南地域の北上が1.75倍、花巻が1.67倍と高くなっています。

また、令和5年の月平均の新規求人倍率は1.82倍と、昭和38年の統計開始以来最高となった令和4年の1.99倍を0.17ポイント下回りました。

さらに、コロナ禍の中、令和2年度から令和3年度では本県の新規学卒者の県内就職の割合は増加傾向にありましたが、令和4年度以降は減少し、特に大学生の減少が顕著となりました。

厳しい状況ではありますが、若年者の県内定着を図るため県内企業と求職者のマッチングを効果的に進めていきます。



出典：令和6年3月1日岩手労働局発表資料を基に作成

《令和6年度の主要事業》

1 就職イベントの開催

(1) いわて就職マッチングフェア（県内）

ア 8月のフェアⅢは、県外から帰省する求職者も取り込む機会として、岩手県の「いわておかえりプロモーション」と連携して開催

イ 就職活動の早期化や学校訪問調査の結果を踏まえ、3月に実施していたフェアⅠを、1ヶ月早めて2月に開催

令和6年度			備考
回	開催日	開催場所	
1	フェアⅡ 令和6年4月27日(土)	岩手産業文化センター ツガワ未来館アピオ	
2	フェアⅢ 令和6年8月10、11日 (土、日・祝)	岩手県民情報交流 センターアイーナ	県の「いわておかえりプロモーション」と連携
3	フェア in 県南 令和6年10月5日(土)	ホテルシティプラザ北上	
4	フェアⅣ 令和6年11月16日(土)	岩手産業文化センター ツガワ未来館アピオ	
5	フェアⅠ 令和7年2月15日(土)	同上	1ヶ月早めて2月に開催 令和8年3月卒業予定の学生が主な対象のイベント

(2) 岩手県U・Iターンフェア（県外）

ア 東京都

県が実施する「全県移住フェア」と合同で開催します。

- ① 企業30社程度及び市町村の出展
- ② 多彩なコンテンツの実施

イ 仙台市

開催時期を前年度より1ヶ月早めます。令和5年度の実施結果を踏まえ、特に東北地区の参加者確保に注力し県と連携して取り組みます。

なお、首都圏からのU・Iターン希望者の参加も期待できることから、令和5年度と同様に同市におけるイベントについても就職活動交通費を支援します。

- ① 企業40社程度及び市町村の出展
- ② 各種セミナーの実施

【仙台市開催の場合の交通費支援の特例】

宮城県以外の東北から（岩手県含む）参加した場合：5,000円

東北以外から参加した場合：10,000円

令和6年度				備考
回		開催日	開催場所	
1	東京都	令和6年8月24日(土)	東京交通会館	県の「全県移住フェア」と合同で開催
2	仙台市	令和7年1月18日(土)	仙台国際センター	前年度より1ヶ月早めて開催

2 関係機関との連携

未来のワタシゴト探究会議〈主催：岩手県〉

県が令和4年度から開催している「未来のワタシゴト探究会議」は、令和6年度も引き続き開催されますが、2年間の実施により高校生の関心が高い効果のある取組となっています。

当会議は、令和7年度から財団が主催することになっていますが、財団の就職イベントにおける大学生参加者の減少傾向の中で、高校生に直接県内企業をアピールできる重要な取組にもなっており、会議に参加した高校生の大学等進学後の県内企業への就職活動に結び付くことも考えられます。

こうした状況を踏まえ、県と連携しながら実施内容、実施方法等を決定するなど、主催に向けた準備を進めるほか、昨年度に引き続き当日の運営や貸切バスの費用負担の支援を行います。

3 就職活動交通費等支援

県外居住者の就職活動を支援するため、財団ホームページに利用者登録した方が、財団イベントや、県内企業等への職場見学、個別説明会、インターンシップ等及び採用試験・面接へ参加した場合、交通費を支援します。

また、県外の学生が、県内企業のインターンシップ等に参加した場合で、一定の要件を満たしたときは、宿泊費を支援します。

4 就職支援情報の収集及び提供

(1) インターネットによる情報発信及び求職者登録の強化

ア 財団ホームページ及びXでの情報発信の強化

いわて就職マッチングフェアや岩手県U・Iターンフェアなど、就職イベントの参加者を確保するためには、企業登録数及び利用登録者数を増やす必要があります。

令和5年度に有期労働契約職員1名を増員して、情報発信強化に取り組んだところ、在団ホームページのアクセス件数が増加したことから、継続して雇用し、随時、登録のメリットや、各イベント、出展企業、ラジオ番組紹介企業の情報、そして参加者の感想などを、財団ホームページやXにより発信します。

また、了解を得られた登録者の情報を県が運営する「ジョブカフェいわて」に提供し、個別相談につなげます。

【登録のメリット】

- ① 登録企業の採用担当者との情報交換
- ② 関心のある求人情報の保存
- ③ イベントの事前参加予約
- ④ 就職活動交通費支援の申請及び申請履歴の確認
- ⑤ ジョブカフェいわてとの連携

イ 企業情報の充実等魅力向上

財団ホームページの登録企業が、最新情報に更新したり、求職者に積極的にアピールできるPR動画等をホームページにアップすることについて、登録企業に対して積極的に働きかけます。

また、「イワテでシゴトする」、「いわて就職マッチングラジオ」の協賛企業について、Xにより随時紹介していきます。

(2) 求職者の親世代等に訴える情報の発信

ア 「イワテでシゴトする」(岩手日報タブロイド版)の発行(8月、12月、3月)

イ いわて就職マッチングラジオ」(IBCラジオ)の放送(平日月曜日から金曜日の16時5分～10分頃に放送)

ウ 財団主催イベントの県内新聞への広告並びにテレビ・ラジオの情報番組への情報提供

5 出稼ぎ就労者の援護

出稼ぎ就労者が減少する一方、出稼ぎ中の事故が毎年のように発生しています。このため、市町村を通じて出稼ぎ互助会への加入促進に努めるほか、互助会員の事故防止への意識向上にも努めます。

また、出稼ぎ関連の統計や情報を県と共同で編集・整理し、関係者の取組を支援します。

(1) 傷病等事故見舞金の給付

互助会員が就労先で災害、疾病により死亡又は休業した場合、傷病等事故見舞金を給付しています。引き続き、市町村窓口で見舞金申請の手続きが的確に行われるよう支援します。

(2) 「出稼ぎの葉(しおり)」の発行

互助会員に対する意識向上と健康で安全な就労を目的として、病気や災害防止の心得などを掲載した「出稼ぎの葉」を作成して市町村を通じ互助会員に配付します。

(3) 出稼ぎ関係情報の提供

出稼ぎ関係の統計や市町村の関連施策などを載せた「岩手県における出稼ぎの実態」を県と共同編集し、県のホームページで公表します。

6 法人の運営

(1) 安定した財源の確保と適切な資産運用

当財団は、令和4年度決算ベースで、基本財産運用益等債券運用収入52,319千円で経常費用58,089千円の約90%を賄っています。財団の諸事業を積極的に展開していくため、資産運用規程に基づく適切な資産運用により中長期的に安定的な財源を確保しつつ、経費縮減と業務の効率化に努めます。本年度の資金運用計画は別添のとおりです。

(2) 計画的、効果的な事業運営

「大学等意向調査」やイベントごとに実施したアンケート結果をイベントの運営改善につなげていますが、引き続き、企業及び大学生等求職者双方からのニーズ把握に努め、効果的な事業運営を行います。

また、中期経営計画については、外部環境の変化に機敏に対応する観点から、県の指導のもと、随時見直しを進めます。

(3) 組織パフォーマンスの向上

財団ホームページや新聞、ラジオ等の情報発信について、集中的に取り組んでいくため、令和5年度に増員した有期労働契約職員1名を継続して雇用するほか、引き続き処遇改善や職員の意欲や能力を引き出すマネジメントに努め、組織パフォーマンスの向上に努めます。

【参考：体制（令和6年4月1日時点）】

正職員3名 有期労働契約職員3名（育休等取得職員対応の業務代替職員含む）

(4) 理事会運営

定時理事会を例年どおり5月、10月、3月に開催します。

(5) 評議員会運営

定時評議員会を例年どおり6月に開催します。

7 資金調達及び設備投資の見込み

(1) 設備投資の内容

ソフトウェア資産の就職支援システムについて、機能強化を図るため次の改修を実施します。

ア 企業と求職者双方の画面表示の修正及び通知機能の追加

イ 企業用と団体用に分かれているイベント申込機能の一体化

(2) 支出予定額

490千円

(3) 資金調達方法

就職活動支援事業資産の取崩し 490千円

8 就職活動支援事業資産の計画的な活用計画

単位：円

区分	金額	備考
情報発信費用	11,500,000	タブロイド版発行、マッチングラジオ放送、電車広告等
人件費	2,500,000	有期労働契約職員1名分
合計	14,000,000	